



SERVE TO CHANGE LIVES

吹田西ロータリークラブ

国際ロータリー第2660地区

ウィークリー 2021-22



創立 1980.6.12
 事務所 〒564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階 TEL06-6338-0832 FAX06-6338-0020
 URL <http://www.suita-west-rc.org> E-mail src@jasmine.ocn.ne.jp
 例会場 新大阪江坂東急REIホテル TEL06-6338-0109 例会日 毎月曜日 18:00~19:00
 会長: 杵本日出夫 幹事: 木下基司 会報委員長: 木田昌宏

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

第1823回例会 令和3年10月4日
 今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」
 秋の家族例会

前回の記録

次回の例会

第1824回例会 令和3年10月18日
 今週の歌 「糸」
 卓話 「クラブフォーラム (国際奉仕)」
 小林 哲 国際奉仕担当理事
 木田 昌宏 国際奉仕副委員長



会長挨拶

杵本会長



本日のゲストは、米山記念奨学生のワッツァラさんが9月で卒業されます。本日は、後ほど卓話をされます。楽しみにしています。

本日は、人工衛星よもやま話をいたします。人口衛星には、BS放送衛星やCS放送衛星の様に、赤道上空の高度約35,786kmの円軌道を、地球の自転と同じ周期、すなわち日本の上空ずっと止まっているように飛んでいる静止衛星に対して、国際ステーションや私が携わった人工衛星まいど1号などは、極軸軌道衛星があります。国際ステーションは、地球の北極と南極の上空高度400kmを、1周90分回っています。まいど1号は高度600kmで飛行しており、地球は自転しているので、地球全体の全ての地域の上空を周回することになります。地球を全面的に観測するには、非常に都合が軌道となります。また、国際ステーションやまいど1号は、所定の高度と飛行速度までロケットで運ばれ、予定軌道に達すると、ロケットから切り離されそのまま周回軌道で勢いだけで継続周回します。まいど1号は打ち上げられ、宇宙でのミッションは3か月ですが、9か月の延長ミッションの末、電源を落とし、終了しました。それから、はやもう12年が経過しました。周回寿命はおおよそ50年程で、だんだん高度が落ち、最後は高速で大気圏に突入し、高温の摩擦熱で燃

え尽きて流れ星となり、問題となっている宇宙ゴミが焼却されることとなる予定です。そんな中、私達が衛星開発で苦労したものの一つとして真空中の温度環境です。極軸軌道で周回しますと、太陽のあたっている衛星の表面は、空気が無いので一瞬に150℃の温度にさらされます。太陽の陰に入ると、その表面は、一瞬にして-150℃まで低下します。例えばですが、調理した焼けたフライパンを冷まそうと水にジャブんと急激に冷やし、また、急速に高温で熱する。こんな熱い冷たいを繰り返すと金属疲労を起こすことになります。地球一周90分の周期で繰り返すので、衛星にとっては過酷な温度に耐える必要があります。また、真空中にも耐える必要があります。空気の中で生活している地球では考えられない現象があります。例えば、金属の回転体では金属同士の軸では、回転の摩擦熱で、軸が固着して動かなくなってしまう。それなら、ボールベアリングにグリスを注入したらと考えられますが、真空中では液体や粘着は蒸散してこれがカメラのレンズに付着して曇らせることが有ります。プラスチックも真空中では水蒸気が蒸散して同様カメラなどのレンズに付着する原因となるため使用を禁止です。このような状態でさらに、温度が-150℃~+150℃に変化すると各機器には大きなストレスを与え寿命に影響します。次に、内部の制御基板のメモリに放射線が貫通するとメモリの1と0が反転したりします。長く放射線を受けると、メモリの寿命も低下します。画像のデータなら反転しても、後で人が見た目で修正できますが、プログラムのメモリが反転するとプログラムが止まってしまう衛星が機能なくなる最悪現象となる。これを防ぐため、定期的にプログラムリセットをかけることで、回復を図る方法がありますが、せっかく収集したデータがリセットで失われるが、動かなくなるよりはマシと考えてその方法としました。本日は人工衛星のよもやま話をさせて頂きました、機会があればまた、続きをご期待ください。

📖 ゲスト紹介

クラブ奉仕委員会 清水(良)委員長

本日のお客様は、米山奨学生のワッツァラさんが、ゲストスピーカーとしてお越し頂いております。本日の卓話よろしくお願いたします。

📖 幹事報告

木下幹事



1. 吉川ガバナー公式訪問のご報告

先々週の例会で、国際ロータリー第2660地区2021-22年度ガバナー吉川秀隆 様（大阪RC）が、公式訪問して頂きました。会員の皆様におかれましては新型コロナウイルス感染予防の観点から、Webでご参加並びにご協力賜り誠に有難う御座います。

例会前に開催されました懇親会でも、ガバナー自信のイタリア海外出張時でのメーキャップ体験などを披露頂き、気さくなお人柄が窺（うかが）える有意義なひと時でした。

事前にガバナー補佐訪問時、会長・理事より投げ掛けてさせて頂いた質問にも、丁寧に回答頂きました。

そのなかから一点、ご報告申し上げます。現在当クラブ、クラブ奉仕担当委員会で進めております「特別名誉会員」について、現在のRIの考えでは正会員と同等の「人頭分担金・規定審議会のための追加人頭分担金」は必要である旨の報告がありました。これを踏まえ、本日理事会で議論する予定です。尚、翌日、ガバナーからの公式訪問の礼状が届いております。

2. 橋本芳信会員のご母堂ご逝去の件

橋本芳信会員のご母堂 橋本タカ様が9月17日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。尚、メール・FAXにてご連絡申し上げました通り、コロナ禍の家族葬であった為、参列並びに弔旗掲揚は控えさせて頂きました。

3. 8月30日の幹事報告でお話し致しましたが、去る8月28日土曜日Webで開催の「公共イメージ向上並びにクラブビジョン策定セミナー」で、四宮バスターガバナーの「ビジョン策定」のセッションにて、当クラブの「ビジョン」が約3分間、紹介されまし

た。その模様の動画を、今までWebで配信出来なかったのですが、Zoom上で出来るようになりました。約3分ですので、ご覧頂けます。どうぞ！

4. 次週の秋の家族例会の件

一般報道によると、9月30日に緊急事態宣言解除予定であります。久しぶりの通常家族例会を開催したいと思います。既に、会員並びにご婦人の参加可否についての募集を親睦活動委員会が行っておりますが、現在のところ44名参加予定です。アルコール提供は出来ませんが、食事会を楽しみましょう！

清水良寛クラブ奉仕担当理事並びに福原親睦活動委員長、よろしくお願い申し上げます。

5. 秋のRYLAセミナーの開催形式変更の件

10月30日(土)・10月31日(日)・11月3日(水・祝)に摂津ロータリークラブがホストクラブとして開催する「秋のRYLAセミナー」の開催形式がコロナ禍の取り巻く状況を踏まえ、完全オンラインとなりました。

詳細については、直接、事務局又は幹事の木下までお問い合わせ下さい。

6. 本日、卓話をして頂きます、米山記念奨学生ワッツァラさんに「修了証」と、近藤カウンセラー（米山記念奨学委員長）への感謝状が、届いております。枕本会長より贈呈。

7. 本日例会終了後に理事会開催の件

本日例会終了後に第7回（9月度）理事会が開催されます。

今年度の理事の皆様、宜しくお願致します。

8. 最後に明日事務局は有給休暇の為、明後日の休所日を含め2日連続のお休みです。ご注意ください。

📖 出席報告

クラブ奉仕委員会 清水(良)委員長

●会 員 数 43名

出席会員数 33名（内Web出席 15名）

●来 客 1名 本日の出席率 91.67%

●※コロナ禍によるメーキャップ規定により9月13日の出席率は100%

📖 国際奉仕委員会

木田副委員長

◇国際大会のご案内

今年度の国際大会は、「新たな地平線を発見しよう」というテーマにて、アメリカテキサス州のヒューストにて2022年6月4日から8日に開催されます。

本年中の12月15日までに登録されますと、早期割引として、メンバーは、675ドルが475ドルになります。参加されるメンバーは、是非とも早期のご登録をお願いします。

社会奉仕委員会 橋本(幸)委員長

江坂企業協議会主催のクリーンデーのご案内です。

緊急事態宣言が解除されれば、10月1日7時30分、江坂公園カスケード前にお集まりください。よろしくお願いします。

クラブ奉仕委員会 清水(良)委員長

10月4日に家族例会がございます。よろしくお願いいたします。

会員御礼 橋本(芳)会員

私事ですが母の葬儀にはロータリーから弔電、供花、そして御仏前をして頂き、ありがとうございました。

このコロナ禍でありましたので家族葬とさせていただきましたが多くの方からの弔電、供花、あたたかいお言葉をして頂き、改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



米山奨学生からの報告と御礼

ヘチチアラッチィゲードーナ・ピュミ・ワツツァラさん

私は、米山奨学生でスリランカ人のワツツァラです。

9月24日に大阪大学、大学院理学研究科を卒業致しました。

今日の卓話は、私の「研究と私の歩み」という内容でお話をさせていただきます。

私はスリランカで2002年小学校を卒業し、2008年中学校を卒業、2009年高等学校に入学ここまでは家族と一緒に暮らしながら学校に通いました。特に科学に興味を持ち、生物学、化学、物理学、情報技術などの勉強をしました。

2012年には、より専門知識を付けたくインド北部のパナラスヒンドゥ大学に国費留学をしました。

2016年3月来日し4月に大阪大学産業科学研究所に入学し有機化学専攻の研究生となりました。10月には修士課程の入学試験に合格し専攻は有機分取触媒を使用した有機反応の開発で自分の研究テーマの論文が初めて出版されました。2018年9月に修士課程を修了しました。

10月に博士課程後期に入学しフロー反応の研究をしました。

以前はフラスコで材料を混ぜ合わせ反応を確認して

いましたが、フロー反応が成功して今は新しいマイクロミキサーと言う機器も手に入れ、とても安全に効率的に便利に実験出来るようになりました。

博士課程の間に15回のポスター発表をしてドイツでの国際会議に出席した時はベストポスター賞を受賞し、インターンシップでドイツのビーレフェルト大学に研究生として研究してアムステルダムにも行き留学生生活を満喫しました。

現在の研究テーマは、「人口知能等の機械学習を活用したフロー型有機触媒反応の最適化」という内容で、これは化学反応を考える場合に、様々な材料を混ぜ合わせる量や濃度や時間で化学反応の内容が変わります。

求める結果を得るためには膨大な時間と労力を必要とし、私は人工知能を使い機械学習で結果を予測してお金や労力を最小限に効率的な方法を開発して成功しました。

私は特に博士課程在の間は一日中研究室いてアルバイトをする時間も無く、学資も払えない時もあり、母国スリランカやインドと比べ日本は物価も高く生活費も大変でした。

米山奨学生制度を知り3年生の時に米山奨学生に選ばれて勉強と研究に集中出来るようになりとても嬉しかった。

また、お世話クラブの吹田西ロータリークラブは昔から母国スリランカのロータリークラブと姉妹クラブで有る事も安心出来ました。

私のカウンセラーは日本語が不得手な私を手伝ってくれて、とても優しく大好きです。

毎月の例会には参加しましたが、新型コロナウイルス感染症のためにオンライン例会でロータリアンの皆様に直接会えなくてとても悲しかった。オンラインは便利ですが、あまり好きじゃありません。

大学の研究室は外国人が多い為に、会話は全て英語です。

でも例会に参加するたびに、私の日本語レベルも少しづつ上がっていきました。

米山奨学生の間にボランティアとして初めて献血活動にも参加しました。

吹田西ロータリークラブの皆様のおかげで、科学の専門家として博士号を取得することが出来ました。

吹田西ロータリークラブの皆様、誠にありがとうございました。

スリランカ語でありがとうは、「ストーティ」です。本当にストーティ。

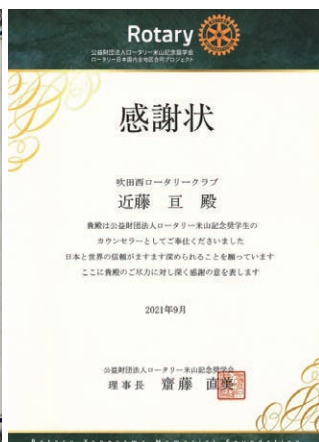


奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Rotary



ワツアラさん



第四〇八回 吹田西ロータリークラブ例会
兼題「秋風・芋」

衣被口に含みて皮を剥ぐ
秋風の吹き抜けてゆくビル谷間
ほどの良き湯気と香りや甘藷煮る
新涼や錦小路の京野菜

まさお
ときよし
美加代
山牛

次回の兼題「後の月・柿」と当季雑詠の七句



ガバナー公式訪問 令和3年9月13日